ロータリーは世界の 200 国以上の国と地域に広がり、会員数は 120 万人超、正にグローバルな奉仕団体であり、ロータリー財団の活動は世界的に高く評価されております。米国にはいくつかの慈善団体を格付けしている団体がありますが、全ての団体からロータリー財団は最高の評価を受けています。

●認証対象

年次寄付は全て以下の認証の対象になります。

・財団の友（毎年年次基金に 100 ドル以上の寄付をする人）
・ポールハリスフェロー（年次基金、ポリオプラス、WF グローバル補助金提唱者側負担金として等、1,000 ドル以上寄付した人。認証ポイントが使えます）
・マルチプルポールハリスフェロー（ポールハリスフェローの人が更に 1,000 ドル寄付すると、マルチプルになり、更に 1,000 ドル寄付するとマルチプルポールハリスフェロー 2 回目になり、9,000 まで 8 段階あります。認証ポイントが使用できます）
・ポールハリスソサエティ（2013 年から公式寄付者認証プログラムになった。毎年年次基金などに 1,000 ドル以上寄付する約束をした人の認証です）
・メジャードナー（寄付の種類は問わず合計で 10,000 ドル以上寄付した人）」

●認証ポイント制度

認証ポイント制度があり、恒久基金寄付以外はすべての寄付に同額のポイントが付きます。年次寄付 100 ドルすると 100 ポイントつきます。1 ポイント 1 ドル換算ですから有効にポイントを利用して年次寄付の増進に利用できます。

当クラブでは、2008-09 年度小林和生会長、新井英次ロータリー財団委員長の年に会員からの自主的な寄付積み立てと認証ポイントの活用によって地区内 4 番目になる「100% ポールハリスフェロー クラブ」としてロータリー財団に申請できて、歴代関係者の努力と会員の協力が、「100%ＰＨＦクラブ認証」と「個人認証」に実を結び、他クラブにも誇れる有効で有益なロータリー財団への寄付啓蒙の鼓舞となったと、クラブ活動計画書に記されています。

また、当クラブでは、前年度に引き続き一人当たり 150 ドルを目標とし、年会費から 6,000 円徴収させて頂き、毎月第 3 例会日に一人当たり 1,000 円以上の寄付を募っています。認証ポイントを有効利用して多くのポールハリスフェローを輩出したいものです。

ところで、我が国での本年度の寄付状況を 2016 年 1 月末現在で見ますと、年次基金は日本が ＄8,003,640、世界が ＄61,497,969 で、恒久基金は日本が ＄947,660、世界が ＄10,431,403 です。寄付総額の世界上位 3 ヶ国を 2016 年 2 月 26 日現在で見ると、アメリカが＄ 106,996,308 で一位、日本が＄10,322,695 で二位、韓国が＄8,425,153 で三位でした。（昨年 4 月に日本は三位に下がっていた）この他日本では、冠名基金数が 132（地区、クラブが設立した冠名基金含む）、PHS 会員数が 569 人であります。

●当地区の状況

3 年前に約 900 万円寄付しており、本年度還付されます。

グローバル補助金

・対象活動

1．人道的プロジェクト　2．奨学金：大学院レベルの留学　3．職業研修チーム（以前の研究グループ交換と異なり、今は片道訪問で良い）

・活動実施地域のクラブとそれ以外のクラブとがパートナーになり。地域社会のニーズに応えた持続可能な事業を行う。
・3 万ドル以上の事業が対象で、地区財団活動資金 DDF と同額の国際財団資金 WF が内訳です。
・奨学金制度も同じ。6 つの重点分野で活動する未来のリーダーを育成する目的。1-4 年の大学院レベルでの学業又は研究活動を支援。派遣側と受入側の協力が必要で、申請前に参加資格の認定を受ける必要がある。申請はオンライン手続きで行います。

地区補助金は、地元社会と海外において幅広い様々な人道的･教育的活動を支援するもの。クラブが実施する社会奉仕活動や国際奉仕活動に対する金銭的な支援である。

・条件

①財団の使命に当てはまる活動
②ロータリアンが積極的に関与する活動

・2014-15 年度第 2790 地区申請プロジェクト件数：国内実施分 18 件、国外 9 件、合計 27 件、53,649 ドル（約 547 万円）

国内；環境関連、児童・青少年の保護・育成、交通安全などで、地元のニーズ掘り起こし、創意工夫が凝らされています。
国外；対象国は東南アジア諸国、教育・疾病予防分野。

・財源は DDF の 50% 以内の制約があり、当地区では、地区補助金上限を事業費の半額且つ 30 万円以内としています。
・地区への申請書提出期限は 4 月半ば頃。
・MOU 必須、補助金管理セミナー出席必須、専用口座設置必須。

奨学金制度

・グローバル補助金奨学生

世界の優先的な 6 つの重点分野に取り組み、持続的且つ測定可能な成果を生み出す事が目的で、奨学生は専門分野の研究を通じて国際ロータリーの提唱する活動に協力し貢献することが期待されています。

・語学堪能、大学院レベルの教育プログラム、海外に留学して学ぶ
・1-4 年の期間に総額 40,000 ドル（消費税含む）支給（DDF と WF 半々）

・地区補助金奨学生

ロータリーの理想に即した修学と奉仕を志す「地区補助金奨学生」募集選抜し､奨学金の給付等を通じて国際理解と世界平和の促進を支援する。専攻分野は問わない。

・志望大学の入学許可証を取っていることが必須。

ロータリー平和フェローシップ

R 財団教育プログラムの一つで、クラブ・地区の推薦を経て、世界を枠とする競争制によって全世界から毎年 60 名（修士課程）が選抜される。ポール・ハリス没後 50 周年･財団教育的プログラム創設 50 周年を記念して設立。2009 年 10 月に「ロータリー･センター」→「ロータリー平和センター」､「世界平和フェロー」→「ロータリー平和フェロー」と改名された。

・ロータリー財団では毎年 7 月 1 日を締切日として全世界の地区から推薦を受け付けている。
・平和の担い手を育成することを目的としており、候補者の発掘と推薦、財源確保のための寄付に協力して頂きたい。また、対象者へのロータリー教育が必要である。

●重点分野

平和と紛争予防／紛争解決
疾病予防と治療
水と衛生
母子の健康
基本的教育と識字率向上
経済と地域社会の発展

●結びに：

地区研修会で伺うと、当地区では未だ半数のロータリークラブが奉仕活動にロータリー財団補助金を使用していないそうですが、当クラブも例外でありません。前人の築いた「100%ＰＨＦ認証クラブ」として寄付を積み上げてゆくと共にその有効活用も図って行かなければならないと考えています。縁の下の力持ち的立場からお話しさせて頂きました。ご静聴有難うございました。

■ニコニコ BOX

・今井様（東京臨海 RC）…皆様こんにちは！一年振りに Make up 致します。本日は宜しくご指導ください！
・川島教昭…30 年永年会員として感謝状を頂きました。ありがとうございます。
・前野…ボウリング大会では大変ご迷惑をお掛けいたしました。
・鳥海…誕生日祝いありがとうございます。

本日の出席	総　数	対象者	出　席	欠　席	出席率	ニコニコBOX	合　計
	57 名	55 名	45 名	5 名	81.81 %		19,000 円
前々回修正	メーキャップ		出　席	欠　席	出席率		累　計
	1 名		52 名	7 名	100.00 %		1,430,000 円

次週のプログラム
3月29日(火)
定款により休会
4月5日(火)
国際奉仕委員会主催
クラブフォーラム
東天紅　点鐘12:30

広報情報委員会【委員長】松本　忍【副委員長】海賓勘一【委員】能勢正明　米田純一郎【兼任委員】平良真人　山木克史　中谷喜貞